

# 小沼組絵図かわら版



これが「小沼組絵図」です！

みなさん、こんにちは。上の写真が、今回修復に出した村指定文化財の「耶麻郡小沼組絵図」です。今までは松原歴史館に展示してありました。

「耶麻郡小沼組絵図」は、江戸時代の大塩北山・熊倉(現・喜多方市)の様子が描かれた絵図です。縦約2メートル50センチ、横約1メートル30センチほどのかなり大きな紙に、各集落や地形の様子が詳しく書かれています。

「組」というのは郡の中にあつたいくつかの「村」が一つにまとまったものを指します。この「小沼組絵図」は行政側にとって、治める地域のくわしい情報がわかる重要な資料だつたと思われれます。

## 泰清堂さんにインタビュー

この度、「耶麻郡小沼組絵図」の修復をお願いするのは、茨城県水戸市にある表具店「泰清堂(たいせいどう)」さんです。泰清堂さんにインタビューをしていろいろ教えていただきました。

-----以下インタビューでのやり取りです(敬称略)-----

公民館:泰清堂さんは、今回のような修復・修繕のお仕事をよく手掛けていらっしゃるのですか?

泰清堂:そうです。これまで博物館や美術館、お寺、神社、教育委員会、コレクターの

方から依頼を受けて、古文書や巻物、額物などを修復してきました。公民館:貴重なものをたくさん扱ってこられたんですね。

工房には何人くらいの職人さんがいらっしゃるのですか?

泰清堂:三人の職人がいます。もちろん私(ご主人)も作業します。

公民館:「小沼組絵図」にはどんな傷みが見られますか?

泰清堂:軸の欠損、たて中央の折れ、穴や切れているところもあります。

公民館:どんな方法で修復するのですか?

泰清堂:絵図に使われている紙を調べて、同じような質の紙で修理するのが一般的です。

公民館:ざつと見積もって修復にはどのくらいの期間がかかりそうですか?

泰清堂:年内には修復を終えることを目指します。

公民館:今後、修復過程も教えていただければと思います。

泰清堂:もちろんです。地図は重要な場所や境界線が記されている当時の機密文書ですね。たまたみ方があって、たまたま都合よく見られるようになっていいるものもあります。

公民館:そうですか。おもしろいですね。それでは「小沼組絵図」をよろしくお願いたします。

## いよいよ搬出です

絵図を太芯に慎重に巻き取って梱包し、搬出します。泰清堂さんの修復によって蘇った姿を見られるのは楽しみですね。

修復過程は、「こちらの「かわら版」でお知らせしていきますと思います。



かわら版 第一号

令和五年 六月